

農業を核としたものづくり拠点形成と産業創出プロジェクト

(地域活性化・地域住民生活等緊急支援交付金事業)

新たな担い手の確保に向け、地域資源を活用した新技術による付加価値の高い生産体制の確立と資源循環型エネルギーの発掘、活用による新たな産業を創出する。また、地域住民が主体となった農村集落活性化の取組を推進する。

【平成 27 年度事業実績】

1. 事業費：42,400,000 円(全額国費)

2. 事業内容

1) 新たな農業技術を活用した栽培試験事業(水耕栽培)

事業費：18,504,377 円

内 容：水耕野菜栽培実験ハウスによる通年での葉物野菜を中心とした新技術(水耕)の普及及び新規就農者等の冬期就労支援、就農実践研修及び学術研究機関との共同研究による、新技術栽培及び新規作物のハウス実証試験
ミニチンゲン菜、赤からし菜、ホワイトセロリ、ベビーリーフ、アンスリウム(花卉)等栽培



ハウス外観



ハウス内(ミニチンゲン菜)



鉢花(アンスリウム)の栽培試験

2) 地域資源・エネルギー活用循環システム構築等実証研究(資源循環型エネルギー製造、燃焼試験)

事業費：22,658,335 円

内 容：資源循環型バイオマス燃焼ボイラーを設置し、もみ殻や木くず等を活用し、近畿大学が有する製造技術を用いたバイオコークス(固形燃料)等をエネルギーとして、積雪寒冷地域におけるハウスでの燃焼試験及び燃焼特性の分析
貯湯タンク及び温水循環、給水配管



資源循環型バイオマス燃焼ボイラー(右)と貯湯タンク(左)



ボイラー内 1 次燃焼室(ガス化)



バイオコークス(固形燃料)

3) 付加価値の高い農産物加工品開発（乾燥加工等をはじめとした農産加工試験）

事業費：603,828 円

内 容：農産加工品品質保持設備を導入(リース)し、新たな商品開発を行う。

干し大根



てぎり干し大根（市内）



太ざり干し大根



製造風景（幌糠センター）

4) 地域集落活性化支援事業（産直野菜の集出荷支援、買い物支援サービス等）

事業費：633,460 円

内 容：農産物の集荷支援と商店街における販売支援により中心街の賑わい創出を図りながら、一方で、商店街が農村集落にて買い物支援を行う仕組みを構築する。

軽トラ市（朝採れ野菜の庭先集荷、販売支援）

農村集落における買い物支援



軽トラ市



軽トラ市



移動商店街（幌糠）

3. 重要業績評価指標 (KPI)

指 標	目 標	実 績	備 考
新規就農者	2 名	2 名	地域おこし協力隊2名
新技術を活用した農産物の栽培面積	15 a	10 a	栽培ハウス2棟及び周辺
バイオ資源活用数	3 種類	3 種類	もみ殻、木くず、廃菌床
野菜生産面積	10 ha	7 ha	JA 取扱い及び本ハウス
地場農産物を活用した加工品数	5 件	6 件	干し大根、干しいも、 ミニチンゲン菜、 赤からし菜、ミニセロリ、 ベビーリーフ

【平成 28 年度事業実績見込み】

平成 27 年度交付金事業の後継事業として実施。（交付金未使用）

重要業績評価指標 (KPI)

指 標	H27	H28	備 考
新規就農者	2 名	3 名	地域おこし協力隊 3 名
新技術を活用した農産物の栽培面積	10 a	10 a	栽培ハウス 2 棟及び周辺
バイオ資源活用数	3 種類	3 種類	もみ殻、木くず、廃菌床
野菜生産面積	7 ha	7 ha	JA 取扱い及び本ハウス
地場農産物を活用した加工品数	6 件	10 件	干し大根、干しいも、 ミニチンゲン菜、 赤からし菜、ミニセロリ、 ベビーリーフ、 ミニ根菜 4 種 ※イチゴ栽培開始
NPO 法人設立		1 法人	下記

<NPO 法人の設立>

幌糠農業・農村支援センターにおける事業の推進と新規就農者の定着支援や、留萌に意欲をもって移住を希望する人材のサポート体制の構築、地域の課題である農業労働力不足の解消を目指した、営農組織等への農作業支援及び事務支援など、持続的な地域農業の推進と、多様な主体との連携による農業・農村の活性化に向けた公益的な取組みを推進する活動組織として N P O を設立。

法 人 名：特定非営利活動法人 るもい農業応援隊

設立年月日：平成 28 年 12 月 1 日（北海道認可：平成 28 年 11 月 14 日）

事 務 所：幌糠農業・農村支援センター内